

周術期口腔機能管理による食道がん術後肺炎予防効果の検討に関する情報公開

1. 研究の対象

2015年1月1日～2016年12月31日に当院で胸部食道がんの診断のもと胸腔鏡補助下食道切除術を受けられた方

2. 研究目的・方法・研究期間

【目的】

胸部食道がんに対して手術療法を行う場合、口腔内の衛生状態はその治療成績に影響を及ぼすといわれています。手術療法後の創部の感染や、肺炎が代表的なものです。一度これらの事象が発生すると、再手術が必要となったり、予定の治療が完遂できないなど治療成績に関わる問題が生じるばかりでなく、追加の治療が必要となったり入院期間が延長するといったQOLの低下をきたします。本研究は、手術の前後に口腔ケアを行うことにより食道がん手術後の肺炎の発症率が低下するかどうかについて検討することを目的としています。

【方法】

当院にて胸部食道がんに対して胸腔鏡補助下食道切除術を受けられた方を電子カルテ上から抽出し術後肺炎の有無等の必要な情報を収集します。得られたデータをもとに、口腔ケアの有用性を検討します。

【研究期間】

実施承認日～2018年12月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、術後経過、血液検査結果、歯科介入の有無、画像検査結果 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学大学院医学系研究科頭頸部感覚器外科学講座顎顔面外科学
〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65

TEL : 052-744-2348

名古屋大学医学部附属病院 歯科口腔外科 病院助教 西川雅也

名古屋大学大学院医学系研究科頭頸部感覚器外科学講座顎顔面外科学

大学院生 中道瑛司

研究責任者 :

名古屋大学大学院医学系研究科頭頸部感覚器外科学講座顎顔面外科学 教授 日比英晴